



日本共産党 京都市会議員
ひぐち英明
議会報告

みなさんのご意見・ご要望をお寄せください！

こんにちは ひぐち英明です

第290号 2016年4月1日 連絡先：日本共産党左京地区委員会 Tel.761-6341
：左京生活相談所 Tel.781-6622

HP：

非正規雇用（宿泊業）の 予算特別委員会 実態調査を約束させる

3月の予算特別委員会で、私は、働く人の賃上げの対策を強く求めました。市長は「有効求人倍率が改善しており、景気は回復基調」などと言っていますが、求人の中身は非正規雇用ばかりが増えているのが実態で、賃金はかえって下がる傾向にあります。

この点を厳しく追及する中で、非正規雇用が得に多い宿泊業（75%が非正規！）に関しては、「実態調査をする」と副市長に答弁させることができました。

宿泊業以外の実態の調査も行わせるとともに、つかんだ実態を改善させるための取り組みに、本腰を入れさせることが必要です。

左京区 大河原としたか弁護士を囲むつどい 「さまざまな魅力の発信を」

7月の参議院選挙・京都選挙区に共産党から立候補を予定している、大河原としたか弁護士と大いに語り合う企画として、「大河原としたかさんを囲み語り合う会」が左京区で行われました。



大河原としたかさんがはじめにあいさつ

当日のゲストスピーカーは安保法制に反対するママの会の伊藤さん、安保法制に反対する学者の会の高山京大教授のお二人。大河原さんへの期待が語られるとともに、高山教授からはいろいろな方に大河原さんをアピールするためにも、「まず、服装をイメージチェンジしよう」と、高山教授が用意したハンチング帽をかぶせ、首にはスカーフ。その後の懇談は、カジュアルスタイルの大河原さんで、和やかな懇談となりました。



高山教授のコーディネートによるニュー大河原を披露

希望する保育園に入園を！ ～市に対して不服審査請求行う～

保育園に申し込んでも入れない方たちが、京都市でもたくさんいます。先日、「希望する保育園に入れなかったのは認可保育所が不足しているからだ」と、お母さんたち6人が京都市に対して、不服審査請求を行いました。



市役所前で思いを語るお母さんたち

あるお母さんは、「4月から保育園に入る子は、上のきょうだいと同じ保育園には入れない、と言われて、別の保育園への入園となってしまった。朝の忙しい時間に2カ所の保育園に子どもを通わせることを強いる京都市はあまりにもひどい」と涙ながらに訴えていました。

認可保育園の増設と保育士の賃上げで必要な人員の確保が早急に求められています。

写真トピックス



←3・12バイバイ原発左京ウォーク

共産党市会議員団そろって戦争法廃止を求める署名宣伝行動↓



3・27京建労春の決起集会にこくた衆院議員と一緒に参加→



○ ひぐち英明 ホット・コム ミニ版 ○

4月になり、次女は6年生になりました。長女（高校2年）は中学1年の後半から塾に行き出したので、次女に「中学になったら塾に行きたいか？」と聞いてみました。すると、答えたのは横で話を聞いていた長男（高校1年）。「中学は部活をしに行くところやで」とのこと。長男はいい中学校生活を送れたようです。